

アワラジオ通信【2014年9月号】

■発行元 アワラジオ クリエイティブ ■102-0084 東京都千代田区二番町 5-2 麹町駅プラザ 901

■E-Mail: awapuradio@gmail.com ■TEL: 03-6868-5129 ■Web: <http://awapuradio.com/>

心の中に広場を持つということ

DVD ブック『1969 新宿西口地下広場』編著者 大木晴子（おおきせいこ）さんに聞く



1948年東京生まれ。「日野べ平連」を作り初めてデモに参加。69年2月、新宿西口地下広場でフォークソングを歌いながらベトナム戦争反対の意思表示を始める。十数年間の幼稚園勤務などを経て、イラク戦争が始まった2003年2月、再び新宿西口地下広場で毎週土曜日に反戦意思表示を始め、今年で12年目に入る。

—1969年にフォークゲリラの運動にかかわった経緯を教えてください。

ベトナム戦争が激しくなってきた当時、私が通っていた教会でも何か支援しようという動きがありました。そしてそこにいた私たち若者が、作家の小田実さんたちが中心にやっていた市民運動であるべ平連（ベトナムに平和を！市民連合）の事務所へ“殺すなバッジ”を買いに行ったことが始まりです。

1968年12月に新宿で花束を持って歩くデモ「花束デモ」がありました。そこへ当時、大阪の梅田地下でフォークソングを歌いながら戦争反対の活動をしていた仲間たちが上京して参加していました。大阪から影響を受けましたね。東京でも出来るなという感じで。その日のデモの終わりに新宿西口地下広場へ行って、ここは雨も降らないし音も響くしいところだからと、みんながやれるのではないかって思ったのでしょね。その後、私とギターが弾ける仲間数人で大阪へ行きました。そして私は大阪でギターを買って、帰りの列車の中で『友よ』が弾けるようになって帰ってきました（笑）。

（フォークゲリラの活動は）4ヵ月から5ヵ月でした。最初はとても小さな輪で数人が歌い、そして歌と歌の間にいろいろなメッセージを語るのです。たとえば当時の新宿には米タン（米軍燃料輸送タンク車）といって、大きなタンクにガソリンをいっぱい詰めてそれが連なって通っていました。その燃料でアメリカの戦闘機が飛んで、子どもたちを殺していたわけですね。そのことで私たちは戦争に加担しているということを、すごく肌で感じる時代だったのです。

—DVDブック『1969 新宿西口地下広場』についてお聞かせください。

映画『‘69春～秋 地下広場』のフィルムを「晴子さんに託したらかたちに残してくれる」というのが、10年前に亡くなった大内田圭弥監督の遺言でした。私のホームページをいろんな方が見てくださるようになって、DVDだけつくって販売してみようと何度か考えたのですが、映像のほうが（世に出ることを）嫌だと言っていたのか、かたちになることはありませんでした。しかし安倍政権になって、あまりにもひどい世の中になりそうだと思うようになってからはどうしても世に送り出したいという気持ちが大きくなっていきました。私の心の中の広場ですね。

それで（同じ編著者の）鈴木一誌さんに相談したら、DVDブックにまとめたらいいのではないかなと言われました。映画だけだとわからない言葉も出てくるし、若い人がみてわかるようなかたちでつくるといいねって。それから年表づくりを友人に頼んで、映画の中から少しずつ言葉を拾ってシナリオにして、専門家の方に整えていただく作業をしました。時代背景と言葉の背景がよく伝わるかたちに仕上がっていると思います。フェイスブックなどでも「資料として最高！」なんて言葉をいただいています。

いまこの映画が歌って語り出したかったのだと思います。中の言葉と人の輝きが生きて世に問うているのかな。「今の人たち、ちょっと変じゃない？」と。

—大内田監督に貴重な映像を託されたときの思いはいかがでしたか。

私が劣化し始めていたフィルムをニュープリントに焼く努力をしていたことなどが、たぶん監督はうれしかったのだと思います。初めて監督にお会いしたとき、「晴子さんが映画の中に出てくるシーンはとても少ないけれど、歌声はいっぱい入っていますよ。どうしてかわかりますか」と尋ねてくださった言葉はとても印象的でした。「それはあなたが二十歳の娘さんでこれからお嫁に行くと思ったから。映像の中にはかわいいシーンがたくさんあったのに、入れられなくて残念です」っておっしゃっていて。そういう心根のやさしさがいい映像を撮ってくださったのかなと思います。

監督はほとんどの作品を破棄されたと聞きました。でも2本だけ残っていてそのうちの1本がこの『地下広場』です。(大内田監督の作品の記録が残されることについて) こういうのは初めてだと思います。本当にそういうことを好まなかった方でした。自分のお歳もはっきり言わないし。写真が出ることもあまり好きではありませんでした。そういう意味で、今回私がこういうかたちで監督のことを残して、監督はちょっとはずかしいけどいいなっておっしゃっていると思います(笑)。

—フォークゲリラの姿は、いま首相官邸前などで抗議行動を行うドラム隊の人々の姿とも重なります。

私たちが始めたとき、本当に反戦フォークソングで世の中を変えられると思っていた部分もありまし


た。ドラムを叩いている人たちも自分の広場をつくっていると思います。自分が発するものと向き合うということはすごく大事なことで、A4の紙に自分の言葉を書いて掲げることと印刷されてみんなに渡されたものを持つことではそれは違いがあります。音楽もそうですね。自分が弾いて歌って、それは自分の心の中の叫びだから。

私がホームページをつくった頃はイラク戦争が激しくて、毎日のように子どもたちの遺体の写真などがネット上に流れていました。そして集会やデモに参加できないと悩んでいる地方の方たちがいっぱいいて。ある四国に住む女性の方からメールをいただきました。自分は何もできないけど、何かしたいと思いつつ夜中に(大木さんのホームページを見つめています。でも大木さんはそれだけでいいのよって言うってくれるから眠ることができます。)

みんな心の中で悩んでいます。自分は何かをやっているからどうだということではなく、動けない人も心の隅では闘っているということを思います。その気持ちを大事にしたいと思っています。

※この記事の基となった番組音声をインターネットでお聴きいただけます。

<http://awapuradio.com/awapuradio/tokyoletter/>

	<p>『1969 新宿西口地下広場』 大木晴子・鈴木一誌 編 (DVD映画『地下広場』付) 価格 3200円(税別) ●新宿書房刊。全国の書店やインターネットで好評発売中。</p>
--	--

コラム「色即是空」／阿部美知子

ケアハウス

ケアハウスとは軽費老人ホームのことで、基本65歳以上で自分の身のまわりのことが自分で出来るけど独居が困難と思われる人が入居できる福祉施設です。健康管理、食事、入浴、趣味教養活動、生活相談、在宅福祉サービスの利用、緊急時の対応が約束されています。

私はくも膜下出血で倒れ九死に一生を得たことで、一人暮らしに不安を感じて入居したものの、入居者の平均年齢80歳に対して私は入居時63歳。初めは急に自分が年をとったように思えて落ち込み、退去のことばかり考えていました。でも今となっては入居して良かったと思っています。部屋は個室で届け出れば外出や外泊も可能。若い職員さんといまどきの話題で会話出来ることも楽しみの一つです。入居者の方たちの間では今では使わないような古い山口の方言や、空襲警報が怖かった、商店街で進駐軍に声をか

けられたなどの、戦争中の体験話が飛び交います。

食事を済ませたばかりなのに、「食事はまだかいね？」と言われたり、夜なのに「今は朝かいね？」などと聞かれたりするの日常茶飯事。エレベーター内やホールでの“おもらし”も珍しくありません。最初は驚きましたが、自分の20年後、いや10年先のことを思えば、暖かい目で見られるようになりました。今日もロビーで“名月赤城山”とか“お富さん”のカラオケ合唱の音が響いています。私は部屋でヘビーメタルやロック、フォークを聴きながら、東野圭吾の文庫本を読んでいます。何か変？

1948年、愛知県でフランス人の父と日本人の母との間に生まれる。亡き夫から引き継いだ飲食店をたたんだ後の97年頃からうつ病を患い、現在は障害者手帳を持つ。東野圭吾や横山秀夫などのミステリー小説を読むのが趣味。阪神タイガースのファン。山口県内の福祉施設で生活している。

番組・イベント情報

■東京ラブレター（毎週木曜日・21：00～21：30）

首都圏で活動するNPOやNGO、市民グループや個人の方を紹介する番組です。

●9月のオンエア【4日、11日、18日、25日】

「ボランティアに訊いてみよう！」

ちよだボランティアセンター「夏休み体験ボランティア」スタッフ・高校生 公文未来（くもんみく）さんに聞く

ナビゲーター：浅井優、あべこう一、西澤尚美

●番組の聴き方

「サイマルラジオ」(<http://www.simulradio.jp/>)にアクセス→「近畿」から「FMわいわい」を選択
スマホからはアプリ「TuneIn Radio」をダウンロード。「FMわいわい」を選択してお聴きください。

●東京ラブレターのページ

（過去の放送をお聴きいただけます）

<http://awapuradio.com/awapuradio/tokyoloveletter/>

■番組アップロード情報

●第1回「詩と憲法のたからばこ」（制作協力）

パーソナリティ ビタミン和子

<http://youtu.be/EE4y6tG0-Qg>

●アワプラジオメンバーに聞く「西澤尚美」

インタビュアー あべこう一

<http://youtu.be/uZ01jLeUvkQ>

■「アワプラジオのメールマガジン」を発行しています。購読は無料。ぜひ登録をよろしくお願いします。

●登録はこちらから

（「アワプラジオのメールマガジン」で検索）

<http://www.mag2.com/m/0001627648.html>

■ゆるやかな出会いの場「大人の社会見学」始まる

—第1回は8月31日「博物館見学+ライブ観賞」

「大人の社会見学」はアワプラジオがコーディネートする、ゆるやかな出会いの場です。やれ婚活だ、合コンだ、人脈づくりだと自分を飾らず、気楽に参加できる場をめざしています。第1回は“みんなで「食と農」の博物館を見学してあべこう一のライブを観に行こう！”

開催日：2014年8月31日（日）

集合：13時に小田急線「経堂駅」前

内容：「食と農」の博物館見学～下北沢ロフトであべこう一コンサートを観賞

参加費：3000円（コンサートチャージ込み）

●詳細はこちら <http://awapuradio.com/excursion/>

■あべこう一コンサート情報

●8月31日（日）下北沢ロフト（東京）

※小田急線・京王井の頭線「下北沢駅」南口5分

【開場】18：30【開演】19：00

【チャージ】2000円（ワンドリンク付）

【出演】田上勇樹 NTN 平井里奈 あべこう一

●申し込み・問い合わせ

awapuradio@gmail.com 03-6868-5129



大人の社会見学
申し込みフォーム



あべこう一コンサート
申し込みフォーム

■OurPlanet-TVが今年も「福島映像祭」を開催

福島映像祭²⁰¹⁴

OurPlanet-TVが昨年引き続き、東京電力・福島第一原発事故に関するさまざまな映像を集めて上映する「福島映像祭」を開催します。

日程：2014年9月20日（金）～26日（金）

会場：ポレポレ東中野／スペース&カフェポレポレ坐（JR・地下鉄「東中野駅」1分）

主催：NPO法人 OurPlanetTV 共催：ポレポレ東中野

●詳細はこちら <http://fukushimavoices.net/>

●問い合わせ OurPlanet-TV TEL 03-3296-2720

（高木さん／白石さんまで）

■9月23日に「さようなら原発☆全国集会&大行進」でブースを出店します

「川内原発再稼働するな！フクシマを忘れない！さようなら原発☆全国集会&大行進」に「アワプラジオ+あべこう一」としてブースを出店し、公開収録や物販などを行います。

日時：9月23日（火・休）11：00～14：00

会場：代々木公園（JR「原宿駅」ほか）

●イベントの詳細 <http://bit.ly/1tH9LAt>

■本の紹介



「徹底検証・使用済み核燃料再処理か乾式貯蔵か～最終処分への道を世界の経験から探る」

原子力発電所の使用済み核燃料の問題に関する日本と世界の状況や最新の技術がわかる一冊。翻訳はウェブサイト『核情報』主宰の田窪雅文さん。

編集：フランク フォンヒッペル・国際核分裂性物質パネル 翻訳：田窪雅文 合同出版刊 2592円

■イベント企画・運営のアワプラジオ

アワプラジオでは各種イベントや講座、ライブなどの企画・運営を行っています。会場の選定や人材確保などの事前準備について、そもそも何から始めたらいいかわからないなど、まずはお気軽にご相談ください。



TEL：03-6868-5129（担当：阿部）

E-Mail：awapuradio@gmail.com

ファンクラブ“Oasis” 会員募集

■アワプラジオとあべこーの活動を支えるサポーターになってください。

アワプラジオは2009年5月の立ち上げから、ボランティアを基本に運営されてきました。以来、インターネットラジオ局としての特性を活かし、商店街や社会福祉協議会などを通じた地域との関わり、音楽や演劇などの文化を通じたつながりの構築、あるいはNPO、NGO活動の紹介などを行い、一定の役割を果たしてきたと自負しています。

また、代表の阿部浩一はミュージシャン「あべこー」としての顔も持ち、人とのつながりや結びつきを重視した活動と発信を追求しています。

2014年、アワプラジオはミュージシャンや市民活動をサポートしながら、積極的な情報発信を行うためのメディア、「アワプラジオ クリエイティブ」として新しいスタートを切りました。それに伴い、もっと取材に力を入れて、内容の充実をはかるためには、ボランティア中心の運営だけでは不都合も生じます。

しかし、今後も独立性を保つためには、特定の企業や行政からの広告収入を受けるといった選択はありません。安定した活動を継続するためには、お一人お一人の応援が必要です。アワプラジオ ファンクラブ“Oasis”へのご入会をよろしくお願いたします。

【入会金0円 年会費4200円（税込）】



●問い合わせ

「ファンクラブ係」

TEL：03-6868-5129（担当：阿部）

E-Mail：awapuradio@gmail.com

●会員有効期限

ご入金をされた日をご入会日となります。ご入会日の月末から12ヵ月後までが有効期限となります。

●会員特典

- ・アワプラジオ通信（毎月）の発送
- ・Eメール等での情報配信
- ・ファンクラブイベントへの参加（抽選とさせていただきます場合がございます）
- ・無償あるいは安価での会員様の活動紹介等の番組やPR音声の制作（ご相談ください）

●入会方法

所定の申し込み用紙（お送りします）、またはウェブサイト上のお申込フォーム（上記QRコード）に必要事項をご記入ください。年会費は下記のいずれかの口座にお振込いただけますようお願い申し上げます。

■郵便振替・銀行振込で寄付する（みなさまの温かいご支援を下記の口座までよろしくお願いたします）。

【郵便振替】

郵便振替口座 15530-3969671

名義 阿部浩一

【銀行振込】

中央労働金庫 本店営業部

普通 3113628

名義 アワプラジオ 事務局長 阿部浩一

三菱東京UFJ銀行 インターネット支店

普通 3772395

名義 阿部浩一

編集後記

8月6日の広島平和記念式典へ参加するため、前日から山口県岩国市へ宿泊しました。ところが6日早朝、岩国市は記録的な豪雨に見舞われて交通網が寸断。参加するはずだった式典のテレビ中継をホテルで見て、JR岩国駅周辺をウロウロ。鉄道が復旧したのは17時。一日ゆっくり広島市内を取材するつもりだったのに、大慌てで平和公園に

だけ立ち寄って東京へ戻りました。それから1ヵ月もしないうちに今度はその広島市で豪雨によるあのような大きな被害が出るなんて。自然の脅威を前に人間はあまりにも無力。本当に心が痛みます。一方で私たちの社会に経済優先で命や安全がないがしろにされている面はないか。問い直す必要があるのではないのでしょうか。（阿部浩一）